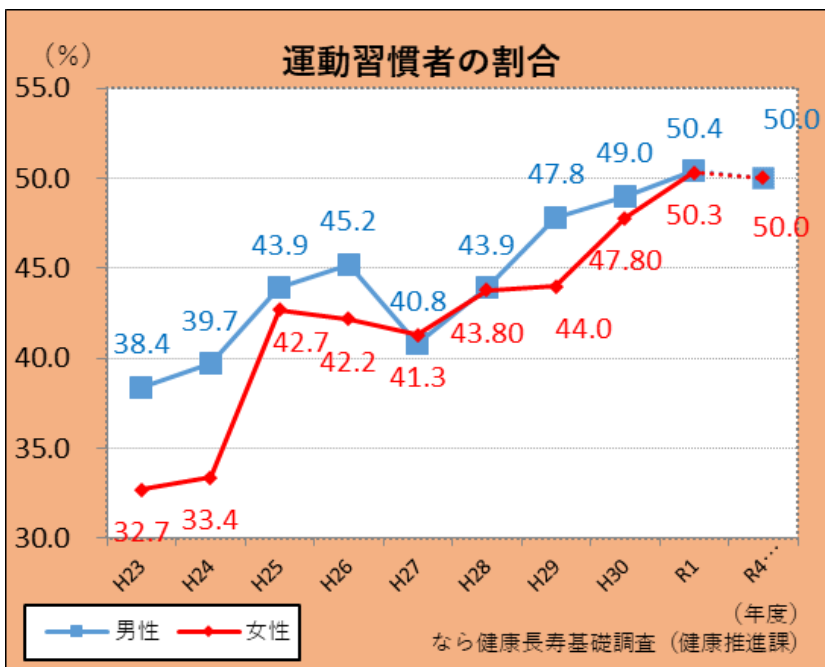


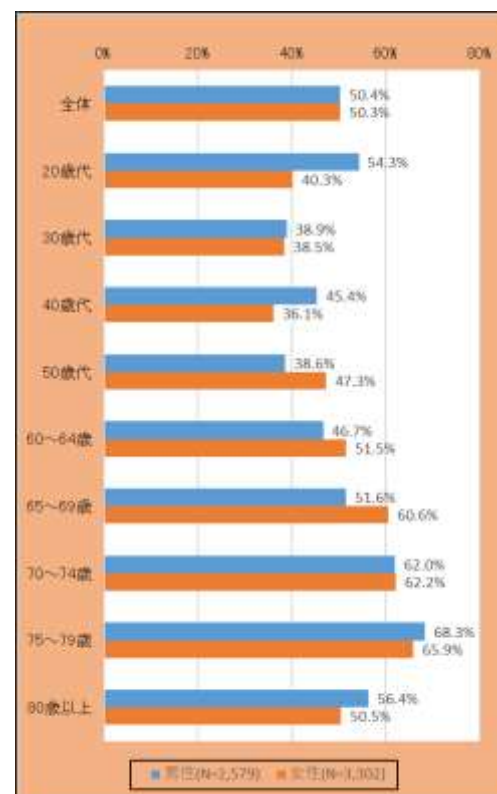
数値で見る奈良県の運動・スポーツ推進状況

<基本目標を実現するための参考指標の推移>

指標：1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施している人（運動習慣者）の割合
 目標：R4年度 50%

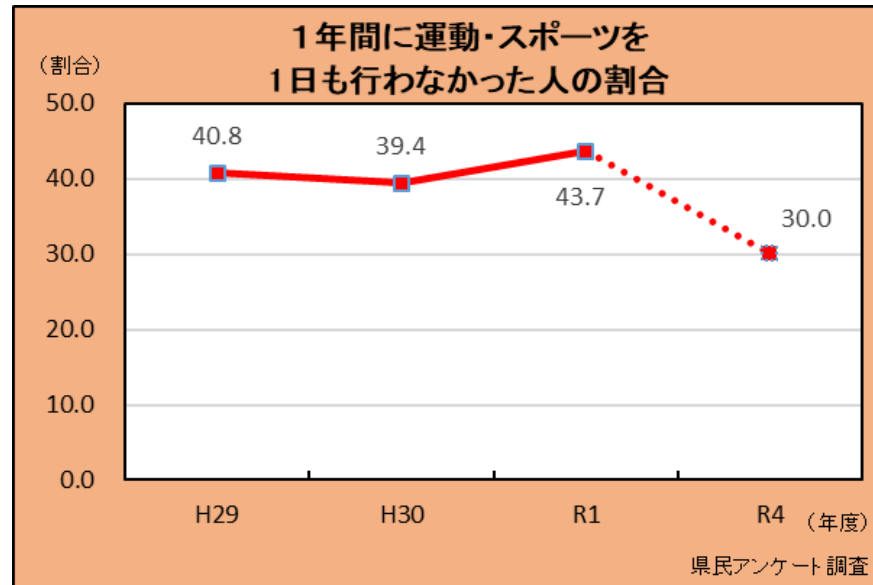


○平成27年度以降は年々上昇し、令和元年度には男女とも50%の目標を達成した。



○男性は30代・50代
 女性は20代～40代の
 ビジネスパーソン、子育て世代が低い。
 ○男女ともに60歳以上は運動習慣者の割合が高い。

指標：1年間にスポーツをしない人の割合
 目標：R4年度 30%以下



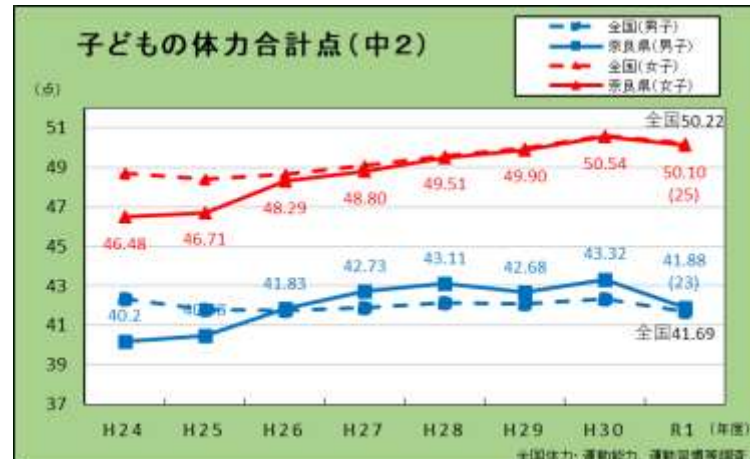
○平成29年度の目標設定時から、横ばい状態で、目標達成まで13ポイント以上減少させる必要がある。

<計画における指標の推移>

指標：子どもの体力合計点数 目標：R4年度 全国平均以上



○小学5年生の体力は、男子は令和元年度に全国平均を超え、全国順位が上がった。女子の合計点数は年々上昇しており、全国平均に近づいている。



○中学2年生の体力は、男子は、平成26年度以降、全国平均以上を維持している。女子は、年々上昇しており、ほぼ全国平均に近い数値で推移している。

指標：障害者スポーツ大会における参加者数
 目標：R4年度 1,195人



○参加者数は年々伸びていたが、サッカーチーム数の減等により、令和元年度は参加者数が減少した。

計画見直し時点(H29年度)からこれまでの取り組み

I ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進

I-1. だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進

(1) 総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進

- ①総合型地域スポーツクラブの活動の質的充実
- ②総合型地域スポーツクラブへの支援体制の強化

(2) ライフスタイルに応じたスポーツの推進

- ①ビジネスパーソンのスポーツの推進
- ②女性がスポーツに取り組みやすい環境づくり
- ③子育て世代のスポーツの推進
- ④高齢者のスポーツの推進

(3) 障害者スポーツの推進

- ①スポーツに取り組む機会（参加する機会）の充実
- ②障害のある人とない人が交流できる取組みの推進
- ③身近な地域でスポーツができる環境づくりの推進
- ④障害者スポーツ指導者等の養成

(4) スポーツを支える環境づくり

- ①スポーツ指導者、マネジメント人材の確保、養成
- ②スポーツイベントや施設情報等に関する情報発信力の強化
- ③スポーツ顕彰制度の整備
- ④スポーツボランティア人材の育成

これまでの主な取り組み

- 総合型地域スポーツクラブ支援センターの運営
- クラブアドバイザーによる巡回指導
- 総合型地域スポーツクラブとの連携事業の実施
- 身近な場所での運動推進への支援

- 奈良マラソン大会の開催
- 市町村対抗こども駅伝大会の開催
- 橿原公苑陸上競技場の夜間無料開放「ナイトラン」の実施
- 奈良県健康ステーションの運営
- ならシニア元気フェスタの開催

- 障害者軽スポーツ大会の開催
- 障害者スポーツ教室の開催
- 障害者スポーツボランティア人材バンクの運営

- スポーツ推進委員協議会の運営
- 奈良県スポーツ特別功労賞の授与
- スポーツボランティア登録及び活用

目標指標と達成状況

指標	計画時(H24)	見直し時点(H28)	現状(R1)	目標年(R4)
総合型地域スポーツクラブの会員数	10,355人	13,814人	16,317人	20,000人
法人格を有する総合型地域スポーツクラブの割合	28.6%	41.3%	47.2%	70%
スポーツイベントの参加者数 (総合型地域スポーツクラブ交流大会)	1,149人	5,049人	8,245人	10,000人
障害者スポーツ大会における参加者数	1,060人	1,126人	994人	1,195人
障がい者スポーツ指導員数 (日本障がい者スポーツ協会公認)	223人(H23)	214人	221人	300人

I-2. 子どもを健やかに育むスポーツの推進

(1) 幼児期のスポーツ(運動・遊び)の推進

- ①幼稚園・保育所等でのスポーツの推進
- ②地域・家族でのスポーツの推進
- ③スポーツ医・科学の活用

(2) 子どもの体力向上方策の推進

- ①学校体育・健康教育の充実
- ②学校運動部活動・地域運動部活動の充実

(3) 子どものスポーツ活動環境の充実

- ①子どもにスポーツの楽しさを伝える指導者の育成・確保
- ②ファミリーでスポーツに親しむ機会づくり

- 「幼児向け運動・スポーツプログラム」の普及

- 幼稚園運動場の芝生化への支援
- 県立高校・中学校の部活動へ、専門知識を有する地域人材の派遣
- トップアスリートとの交流イベントの開催(野球、陸上)

- 飛鳥RUN×2リレーマラソン大会の開催
- まほろば健康パークの機能強化の検討
- 子どもたちをプロスポーツ試合等へ観戦招待

指標	計画時(H24)	見直し時点(H28)	現状(R1)	目標年(R4)	
1日の総運動時間が60分以上の割合	小学5年生	45%	41%	男子：49.1% 女子：26.5% ※1週間の総運動時間420分以上	55%
	中学2年生	67%	69.7%	男子：81.8% 女子：60.2% ※1週間の総運動時間420分以上	75%
子どもの体力合計点 ※() 数値は全国平均	小学5年生	男子：54.81点(54.07点) 女子：55.14点(54.85点)	男子：53.57点(53.92点) 女子：55.00点(55.54点)	男子：53.68点(53.61点) 女子：55.38点(55.59点)	全国平均以上
	中学2年生	男子：40.20点(42.32点) 女子：46.48点(48.72点)	男子：43.11点(42.13点) 女子：49.51点(49.56点)	男子：41.88点(41.69点) 女子：50.10点(50.22点)	全国平均以上

計画見直し時点(H29年度) からこれまでの取り組み

I-3. 県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

- ①選手・指導者等の発掘・育成強化に関する支援
- ②スポーツ医・科学等を活用したサポート体制の整備
- ③パラスポーツにおける競技力向上

(2) トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

- ①トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施
- ②企業、大学等が有する人材の活用

(3) プロスポーツ等の観戦の機会づくり

- ①プロスポーツなどの試合誘致
- ②地域、企業等との連携による支援体制の検討

これまでの主な取り組み

- パラリンピックタレント発掘イベントの開催
- 「まってる花園」交流試合の開催
- 競技団体等の競技力向上への支援
- 国民体育大会への奈良県選手団派遣

- 東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致活動
- トップアスリートとの交流イベントの開催(野球、陸上)
- バトンをつなげ400mリレーフェスティバルの開催
- 大相撲幕内優勝力士への知事賞の贈呈

- プロ・トップリーグ等の試合誘致
- 子どもたちをプロスポーツ試合等へ観戦招待

目標指標と達成状況

指標	計画時(H24)	見直し時点(H28)	現状(R1)	目標年(R4)
スポーツ指導者数(日本スポーツ協会公認)	2,751人	2,203人	2,378人	4,000人
国体の総合成績	35位	19位(H29)	27位	20位台定着
プロスポーツ等の試合数	5試合	51試合	45試合	60試合
全国大会1位の奈良県選手の数・団体数	-	54件	123件	80件

I-4. スポーツ環境の整備・活用

(1) 県内スポーツ施設の整備・運営の検討・推進

- ①全国規模の大会開催を視野に入れた拠点施設の整備方針の検討・推進
- ②民間活力の積極的な活用の検討・推進
- ③新たなスポーツ施設の研究

(2) 身近な公共施設等の整備・活用

- ①オープンスペースの活用等まち中でのスポーツ環境の整備
- ②学校体育施設等の活用

(3) 既存施設の中長期的なファシリティマネジメントの推進

- ①既存施設の機能向上、長寿命化の促進
- ②スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の促進

- 県内スポーツ施設等の現況調査
- スポーツ拠点施設の整備検討
- まほろば健康パークでPFI手法による、健康増進施設、競技施設、管理等施設及び公園機能施設を一体的に運営

- 小・中学校、高校体育館施設の一般開放
- 京奈和自転車道の整備
- 奈良県サッカー協会へのフットボールセンター用地の貸与

- ネーミングライツを活用した改修・機能向上等

指標	計画時(H24)	見直し時点(H28)	現状(R1)	目標年(R4)
橿原公苑年間利用者数	301,330人	308,893人	336,910人	330,000人
まほろば健康パーク年間利用者数	-	303,290人	322,414人	330,000人

計画見直し時点(H29年度) からこれまでの取り組み

Ⅱ スポーツを通じた地域振興

Ⅱ-1. スポーツによる地域のにぎわいづくり

(1) 参加型スポーツイベントの実施

- ① 季節に応じたスポーツイベント等の展開
- ② 自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進

(2) スポーツツーリズムの推進

- ① スポーツイベントを活かした滞在型観光の促進
- ② 南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの展開
- ③ スポーツ合宿の誘致
- ④ スポーツイベント等による海外からの誘客促進
- ⑤ サイクリングなど周遊型観光ルート・スポットの活用

これまでの主な取り組み

- 奈良マラソン大会の開催
- 飛鳥RUN×2リレーマラソン大会の開催
- 奥大和スポーツメッカづくり事業の実施

- サイクルスポーツイベントの開催支援
- 「弘法大師の道」を活用したトレイルランの開催
- マップの作成・配布など自転車利用環境の整備
- サイクリングコースの動画作成・配信

目標指標と達成状況

指標	計画時(H24)	見直し時点(H28)	現状(R1)	目標年(R4)
スポーツ合宿でスイミア奈良を利用する人数	—	2,179人 (H27)	2,389人	3,000人

Ⅱ-2. 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進

(1) キャンプ地招致等

- ① 国際競技大会の事前キャンプや強化合宿の継続的な受入

(2) キャンプ地招致等によるスポーツ振興と交流促進

- ① スポーツ交流等を通じた県内ジュニア選手の育成
- ② スポーツ交流等を通じた友好交流の促進
- ③ マスメディア、ソーシャルメディア(SNSなど)を活用した奈良の魅力発信

- 東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致活動
- キャンプ地招致国の合宿受入やホストタウン交流の実施

- 中国陝西省との青少年スポーツ交流の実施
- 東京2020オリンピック聖火リレーの開催準備
- ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備

- ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ招致、強化合宿の受入
- ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催等を契機とした、継続的な国際交流を促進

主な取り組みの事業内容

I-1. だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進

◇総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進

「総合型地域スポーツクラブ」の充実・発展に向けた活動支援

- **クラブの育成・活動の充実化**
 - ・県クラブアドバイザーによるクラブへの巡回しきめ細かく指導
 - ・アクティブチャイルドプログラム、県内外の先進事例等を学ぶ講習会の実施
- **アシスタントマネジャー養成講習会の開催**
 - ・総合型地域スポーツクラブの運営能力を有する専門的な人材育成を図る
- **総合型地域スポーツクラブのPRイベントの実施**
 - ・体験教室等を通じて、認知度向上を図り、普段スポーツをする機会の少ない人にクラブの活動をPR



クラブ活動風景



アシスタントマネジャー養成講習会



PRイベント

- **コロナ禍での身近な場所での運動推進**
 - ・総合型地域スポーツクラブが新たに開催するレクリエーション等を支援

◇ライフスタイルに応じたスポーツの推進

子どもから高齢者まで、ライフステージに適した運動・スポーツの機会の提供

- 市町村対抗子ども駅伝大会
- シニア元気フェスタ
- 橿原公苑ナイトラン



【参加者数】39市町村
・407人 (H31.3)



【参加者数】2,628人
(R元.5)



【利用者数】21,282人
(R元年度)

- **奈良県健康ステーションの運営**

身近な場所で健康づくりの情報発信や交流等
日常生活の工夫で取り組める「おでかけ健康法」の普及啓発



◇障害者のスポーツの推進

障害の種別や程度にかかわらず、また障害のある人とない人が、共にスポーツに参加し楽しめる環境づくりを推進

- **障害者軽スポーツ大会**
障害のある人とない人が、気軽に参加できる軽スポーツイベント【参加者数】128人(R元.11)
- **奈良県障害者スポーツ大会**
全国障害者スポーツ大会の奈良県予選【参加者数】994人(R元.4~5)



- **障害者スポーツ教室**
【参加者数】233人(R元年度)



- ・リフレッシュ体操
- ・スクエアステップ
- ・リラックス水泳

- **障害者スポーツボランティア人材バンクの運営**



◇スポーツを支える環境づくり

スポーツ指導者やボランティアの育成、スポーツ情報の発信などスポーツを支えるための環境づくりを推進

- **スポーツボランティア登録制度の運用** (R3.1現在 285人)
 - ・ボランティア登録者に対する講習会の案内
 - ・定期的にスポーツイベント(ボランティア)情報を提供
- **奈良県スポーツ特別功労賞の授与**
 - ・令和2年大相撲初場所で幕内最高優勝した徳勝龍関(奈良市出身)へ奈良県スポーツ特別功労賞を授与



主な取り組みの事業内容

I-2. 子どもを健やかに育むスポーツの推進

◇幼児期のスポーツ（運動・遊び）の推進

幼児向け運動・スポーツ実践促進事業

- 「幼児向け運動・スポーツプログラム」の普及促進
 - ・プログラムの実践・導入に意欲的な幼稚園等をモデル園とし、近畿大学と連携してサポートやプログラムの効果検証を実施【モデル園数】12園（H29）



- ・幼稚園等の指導者を対象とした講習会を実施【講習会受講】52園・68人（H30）



- ・プログラム普及実践マニュアル及びDVDの作成・配布【配布先】405園（H31）



◇子どもの体力向上方策の推進

○ 幼稚園運動場の芝生化への支援

平成28～30年度
幼稚園・こども園 2園の芝生化を補助



○ 部活指導のための専門知識を有する地域人材の派遣実績

	中学校	高等学校
平成27年度	23校 24部	13校 16部
平成28年度	19校 20部	14校 20部
平成29年度	26校 28部	11校 14部
平成30年度	27校 28部	14校 18部
令和元年度	(18市町村 138名) ※	14校 19部
令和2年度	(21市町村 166名) ※	13校 19部

※令和元年度より、中学校は市町村の部活動指導員配置促進事業へ移行し、県は予算補助（支援）

◇子どものスポーツ活動環境の充実

○ まほろば健康パークの機能強化の検討

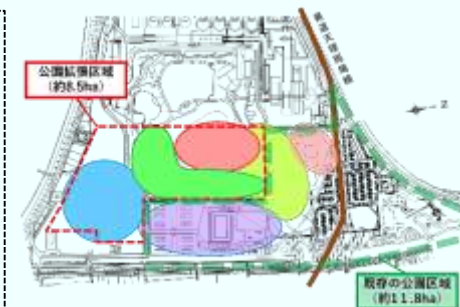
国際大会や全国大会等の招致も視野に「スウミア奈良」50m屋外プールの観客席増設や屋根の整備等を実施（令和3年6月竣工・夏供用開始予定）



<観客席増設及び屋根整備等イメージ>

「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」に向けた検討

約8.5haの隣接地を活用し、公園機能の強化を検討中。令和3年度に基本計画を策定予定



- アメニティ施設ゾーン
- 乳児・幼児が遊びを通して成長できる施設ゾーン
- 子ども連れの家族が憩い、誰もが交流できる施設ゾーン
- 子どもが遊びや運動を楽しみ上達する施設ゾーン
- 子どもが目標に向かって取り組むスポーツ施設ゾーン
- 競技スポーツゾーン（既存：水泳、テニス）

主な取り組みの事業内容

I-3. 県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進

◇競技力の向上

○パラリンピックタレント発掘イベント

タレント発掘イベント及び育成練習会を開催（H27～）

陸上：H27～30
水泳：H27～
【参加者数】(R元.11)
選手・指導者 6人



○まってる！花園

県内外高校ラグビーチームによる強化試合

小・中学生のラグビー交流大会を実施

【参加者数】54チーム・2,077人（R元.12）

R2年度は、コロナ対策のため、県内中学・高校生を対象に交流大会・練習会を実施
【参加者数】
8チーム・212人(R2.12)



◇プロスポーツ等の観戦の機会づくり

○プロ・トップリーグ等の試合や大会の誘致

バレーボールVプレミアリーグ、バスケットボールBリーグ、プロ野球ウエスタンリーグ等【H30：53試合、R元：45試合】

○子どもたちのプロスポーツ試合等への観戦招待

プロ野球ウエスタンリーグの観戦招待

県内在住または在校の小学生児童や障がいのある児童生徒を招待



◇トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

○バトンをつなげ！400mリレーフェスティバル

北京オリンピック400mリレー銀メダリスト朝原宣治氏、日本代表選手らによる陸上クリニック、リレー競技会

【参加者数】(R2.11)：59人（新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し、陸上クリニックのみ開催）
（参考：R元.10,508人）



○プロ野球選手との交流イベント

障がいのある子どもたちや、小学生低学年児童等を対象にプロ野球選手（オリックス・バファローズ）とふれ合う野球教室を開催

【参加者数】(H31.4、R元.9)：230人



○大相撲優勝力士への「奈良県知事賞」贈呈

「相撲発祥の地」とされる奈良をPRするため

【贈呈力士】白鵬、鶴竜、御嶽海、照ノ富士、正代



主な取り組みの事業内容

I-4. スポーツ施設の整備・活用

◇県内スポーツ施設の整備・運営の検討・推進

○ スポーツ拠点施設の整備・運営について検討・推進

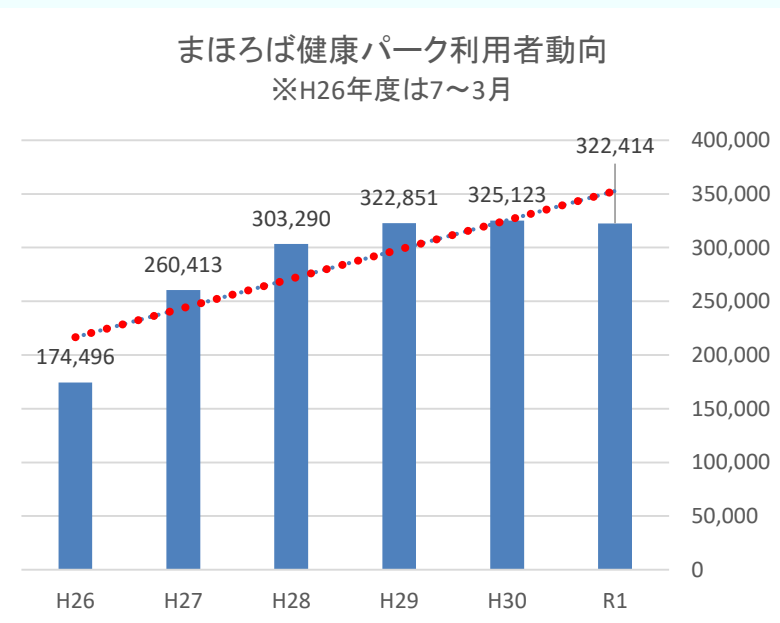
令和13年の国体主会場になるとともに、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、アスリートから健康志向の方々まで、多世代・多様な人びとが日常的に集う拠点になり、運動・スポーツの推進、健康増進、地域経済活性化に資する多機能複合型スポーツ拠点施設の整備・運営について検討・推進



R1 茨城国体総合開会式の様子

○ まほろば健康パークの運営

平成26年7月の開業以来、利用者数は概ね順調に増加
令和3年度には観客席増設及び屋根整備を実施し、さらなる利用者数アップを目指す



スミアピア奈良



50mプール



ファミリープール

◇身近な公共施設等の整備・活用

○ 県立学校体育施設利用者数及び開放校数

	施設利用者数	開放校数
平成29年度	6,539人	39校
平成30年度	5,430人	41校
令和元年度	5,520人	35校

○ 京奈和自転車道の整備

京都・奈良・和歌山を結ぶ全長約180kmの自転車道で、県内の約75kmがR2年度末に概成予定



整備された京奈和自転車道

◇既存施設の中長期的なファシリティマネジメントの推進

○ ネーミングライツを活用した既存施設の改修・機能向上

【実績】

檀原公苑野球場 愛称：「佐藤薬品スタジアム」
H22～R4(R1.7更新) 愛称命名権者：佐藤薬品工業株式会社
(4期目) 命名権料：800万円/年

檀原公苑第一体育館 愛称：「ジェイテクトアリーナ奈良」
H28～R4(R1.7更新) 愛称命名権者：株式会社ジェイテクト
(2期目) 命名権料：300万円/年



佐藤薬品スタジアム



スコアボードの外部塗装



ジェイテクトアリーナ奈良



アリーナのフロアクリーニング

主な取り組みの事業内容

II-1. スポーツによる地域のにぎわいづくり

◇参加型スポーツイベントの実施、スポーツツーリズムの推進

参加型スポーツイベントにより地域のにぎわいづくり、活性化をはかるとともに、特に自然豊かな南部・東部地域の特色を活かしたスポーツイベントによるスポーツツーリズムを推進

○奈良マラソン

【エントリー実績】(R元.12)

フルマラソン : 13,210人

10km : 4,499人

3km : 1,436人

【R2年度代替イベント】

奈良マラソンKONOIKE2020を開催

・10分の1奈良マラソン (R2.12.12 参加者数336人)

・リレーマラソン (R2.12.13 参加者数 フル35チーム・275人、
ハーフ27チーム・100人)



飛鳥RUN×2リレーマラソン

・子どもから大人までチームでたすきを繋ぐ、マラソン大会

【参加者数】(R元.11)

42.195kmの部 : 118チーム、1,052人

20kmの部 : 78チーム、593人



○「弘法大師の道」を活用したトレイルランニング

・奈良県吉野山～洞川～高野山を結ぶ「弘法大師の道」を走る、トレイルランニングイベント

【出走者数】(R元.5)

KoboTrail 2019 : 205人



○ ツアー・オブ・奈良・まほろば

大和高原地域、東部地域の地勢を活かしたロングライド

【参加者数】(R元.8) : 350人

コロナ禍で、サイクリングによる運動機会の推奨するとともに、奈良の魅力を発信するため、ツアー・オブ・奈良・まほろばのコースをベースにしたサイクリングコースの動画を作成・配信



○ ヒルクライム大台ヶ原

大台ヶ原を駆け上がるヒルクライム。「親子の部」・「カップルの部」および激坂区間賞に奈良県知事賞を創設
【参加者数】(R元.9) : 818人



○ 山岳グランfondin吉野

国内屈指の難関コース、完走率ワースト1位として評価の高い本格的グランfond
【参加者数】(R元.7) : 545人



○ 奥大和スポーツメッカづくり事業

令和3年2月に県内サッカークラブと連携したサッカー合宿等を下北山スポーツ公園で実施予定

主な取り組みの事業内容

Ⅱ-2. 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進

◇キャンプ地招致等

県と関係市が連携して実行委員会を設立し、東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地の招致やホストタウン交流を実施

○ キャンプ地の決定

- 香港（水泳・大和郡山市）
- エジプト（柔道・天理市）
- ウクライナ（陸上・橿原市）
- シンガポール（パラ水泳・大和郡山市）



○ 継続的に招致活動を実施

- オーストラリア（女子サッカー・奈良市）
- カザフスタン（シッティングバレーボール等・橿原市）

○ 各国の合宿受入・ホストタウン交流の実施

- ・香港（大和郡山市）
平成29年4月・平成31年3月・4月
水泳チームが強化合宿を実施（スイムピア奈良）
地元小中高校生との交流を実施
- ・シンガポール（大和郡山市）
令和元年5月
パラ水泳チームが強化合宿を実施（スイムピア奈良）
- ・エジプト（天理市）
平成30年8月・令和元年8月
柔道チームが強化合宿を実施（天理大学柔道場）
地元の子もたちとの交流を実施
- ・カザフスタン（橿原市）
平成31年1月
男子シッティングバレーボールチームが世界選手権の事前キャンプを実施（ジェイテクトアリーナ奈良）
地元小中学校・高等養護学校との交流を実施



香港・水泳



シンガポール・パラ水泳



エジプト・柔道

◇キャンプ地招致等によるスポーツ振興と交流促進

○ 中国陝西省との青少年スポーツ交流の実施

中国陝西省と県が隔年で選手団の派遣・受入を実施

- ・平成29年 受入（卓球）
- ・平成30年 派遣（卓球）
- ・令和元年 受入（水泳）



○ 東京2020オリンピック聖火リレーの開催準備（R2年→R3年に延期）

・聖火リレールート決定

R3年4月11日（日）

五條市・御所市・葛城市・十津川村・桜井市・田原本町・
天理市・明日香村・橿原市

セレブレーション：橿原公苑陸上競技場

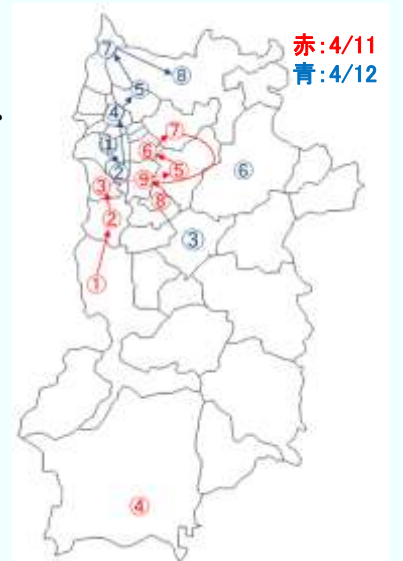
R3年4月12日（月）

河合町/広陵町/香芝市・大和高田市・吉野町・斑鳩町・
大和郡山市/奈良市・宇陀市・生駒市・奈良市

セレブレーション：東大寺大仏殿

・聖火ランナー決定

奈良県走行ランナー193組のうち、44組を選考
（39人を公募、5組を推薦選考）



○ ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催準備（R3年→R4年に延期）

・綱引（葛城市）

日程調整中

会場：奈良県新庄第一健民運動場

香芝市総合体育館

・カヌースプリント（吉野町）

日程調整中

会場：津風呂湖カヌー競技場

